

2025年1月26日 顕現後第三主日礼拝説教

「御体に結ばれるなら」(I コリント 12 章 12～31 節 a)

○I コリント 12 章 13 節のみことば

「皆一つの体となるために洗礼を受け、皆一つの霊をのませてもらったのです。」

＊体：キリストの御体、ひとりの救い主を信じて、称える者が集められる交わり

☆わたしたちは、救い主イエスを信じる命と洗礼によって、赦しと聖霊を受け、
神の愛する子として、キリストの〈みことば〉に結ばれる恵みを賜わった。

☞みことばにある望みも、神の憐れみを受ける道も、すでに〈あなた〉のもの。

「神は、御自分の望みのままに、体に一つ一つの部分を置かれた」(18 節)

神は、御体なる交わりのうちに、それぞれ違った役割を備えて、ひとつひとつの働きに最も相応しい兄弟姉妹を選び、その人をとおして、キリストを示される。

今日のみことば：I コリント 12 章 27 節

「あなたがたはキリストの^{からだ}体であり、また、一人一人はその^{ひとりひとり}部分^{ぶぶん}です。」

みことばによって、わたしたちの交わりが、キリストの御体として生かされ、
結ばれる方から命を受ける〈あなた〉も、体を支える大切な〈ひとり〉となる。

※わたしたちが、力なく、欠けがあっても、御体に結ばれる恵みに与かるなら、
救いの源なるキリストが、あなたのうちに、よきものを流され続けていく。

＊聖書翻訳本文は日本聖書協会『聖書 新共同訳』からの引用です。